

「美術科」シラバス

教科の目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
評価について	【評価の観点】 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度 【評価の方法】 1 授業中の取り組みの様子、発言、表情、対話などから、評価する 2 作品から、発想の過程や制作の手順、思いや意図の変容を評価する 3 制作カードや作品カードの記述から、生徒自らが、授業のねらいや課題を振り返り自己評価などを評価する	学習の進め方	1 様々な用具や素材（紙・木・石・金属・粘土など）を扱い、つくる楽しさを味わう。 2 造形活動への興味・関心を高め、楽しく美術活動に取り組む。 3 いろいろな作品づくりの中で、個性を生かし、自ら学ぶ姿勢が身に付くように試行錯誤し、学習する。 4 「表現」及び「鑑賞」の中で、形や色彩、材料、光などの性質、それらが感情にもたらす効果などを理解する。造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。

3年間の学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
1学期	・オリエンテーション 美術について、授業の約束などを学ぶ。 ・「心ひかれる木」（絵画） ・「燃え上がる黄色は希望の光～ゴッホ～」(鑑賞)	・オリエンテーション 授業の約束などを確認する。 ・「私の大切なもの」（絵画） ・「ゲルニカを味わう～ピカソ～」(鑑賞) ・「ポスター（視覚伝達デザイン）」(デザイン)	・オリエンテーション 授業の約束などを確認する。 ・「中学3年生の私 一切り絵」(絵画) ・「祈りの造形～修学旅行に向けて～」(鑑賞)
2学期	・「材料を生かして 一割り箸造形」(彫刻) ・「編んで作る小物入れ」(紙工芸)	・「輝く私の一場面 一針金彫刻」(彫刻) ・「カッティングカレンダー」(デザイン・工芸)	・「抽象彫刻にチャレンジ」(彫刻) ・「サクラダファミリア教会～アントニ・ガウディ～」(鑑賞)
3学期	・「お地藏様を描こう(墨)」(絵画) ・「創作文字を描こう」(デザイン・工芸)	・「墨とパステルのハーモニー」(絵画) ・「私が発明王(ロボットのデザイン)」(デザイン)	・「生き生きとした動物・昆虫を描こう ースクラッチー」(絵画) ・「サラエボの光～平山郁夫～」(鑑賞)